

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2023年3月17日

事業所名 おおとり園(放デイ)

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動内容や状況に応じて、指導訓練室2室の間仕切りを使い、身体が動かすことができるスペースを確保しています。常置の簡易仕切り・小さいテント等を活用して、静養できる環境を保っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	ご利用者様の状況に合わせて、人員調整をしながら職員体制を考えております。基準を満たした配置をしておりますが、今後も安全面に十分配慮した人員体制に努めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	スロープや段差等、バリアフリー化されていません。利用者様のニーズを把握しながら、設備環境を整えてまいります。介助が必要な際には、人員確保を確実にを行い、職員連携を保ちながら、安全な支援環境を保ってまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	日々の振り返りや定期的な事業所会議を行い、課題や改善点の情報共有・共通理解に努めております。報告書や議事録等の記録を周知し、それらを活用しながらより多角的な視点での支援計画作成・中間評価につなげてまいります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価表のアンケートにお寄せ頂いたご意見・ご要望を基に、課題点・改善策の検討に努めております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	結果について、事業所職員で確認した後、法人のホームページにて公開しております。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状、第三者による評価はいただいております。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	常勤職員は虐待防止・身体拘束適正化研修をはじめ、年数回の法人内研修に参加しております。非常勤職員については、事業所内での伝達や記録による研修の機会を設け、職員間で資質を向上させる環境を保つように努めております。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者様と相談・サービス等利用計画の確認をした上で、個々のニーズ・課題点の把握に努めております。通所している姿からご利用者様のニーズを見定めて、保護者様とご相談しながら支援目標(支援計画の内容)を定めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カード・サポートシートを活用し現状を把握しています。サポートシートの記録(訂正・追加)により、成長による変化の動向や課題点を確認しております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	可能な限り多数の職員がプログラムの立案にも参加し、多角的な視点で作成する体制を整えています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	課題遊び・公園活動・レクリエーション・制作活動などを、季節や行事に合わせて行っています。流動的な参加の仕方や幅広い参加の方法を設定し、関心をもって活動できる環境づくりをしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	通常と長期休暇期間は、開所時間や活動内容を違う設定にしております。活動内容の構成については、時間帯や参加するご利用者様に合わせて行っております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画において、複数の支援目標を設定しています。集団活動を活かして、個々を尊重する内容を意識しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	日々、振り返りの時間を設けております。課題点・問題点を確認するだけでなく、適切な支援方法を考えるなどして、支援及び資質の向上に努めております。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	日々、振り返りの時間を設けております。課題点・問題点を確認するだけでなく、適切な支援方法を考えるなどして、支援及び資質の向上に努めております。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用内容(個別の支援記録)、日報(全体記録)を活用しております。支援についての課題点・改善点・良かった点等の記録を基に、より適切な支援方法等の検討や支援環境の改善につなげています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	法人内・外の相談事業所実施のモニタリングに参加し、保護者様とともに内容確認や支援方法の見直しを行い、今後の支援目標の方向性を定めています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	基本活動のなかから、個々に合わせた複数の支援目標を設定しています。集団活動を活かして、個々を尊重する内容を意識し、各々の成長発達に即した活動内容の組み合わせに努めております。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	責任者や、個別支援計画作成の担当者が参加しております。ご利用者様の近況や成長発達の動向を把握している者が参加し、情報共有・共通理解を深め、より適切な支援体制づくりに努めております。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校のホームページや配布物の確認はもちろんですが、下校時に先生方から個々に申し送り事項をお聞きし、学校側との連絡調整を行っております。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要なご利用者様はいませんが、在籍された際には保護者様とご相談しながら連絡体制を調整させていただきます。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	法人内の児童発達支援センター・児童発達支援事業所の他にも、関係機関より情報を頂いております。ご見学の際に、保護者様から就学前のご様子や各関係機関との連携についてのお話を伺い、情報共有に役立ております。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	ご利用者様の対象学齢が小学校1～2年生のため該当しませんが、法人内の他学年対象の事業所との引継ぎ・情報共有に努めています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	法人内研修による専門職からの指導・助言を活かしながら、ご利用者様が安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナの状況を鑑み現在は実施しておりませんが、公園活動等で地域の方との交流をさせていただいております。今後、マスク着用の徹底・社会的距離の確保を行いながら、児童館利用等における交流活動を検討していきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	協議会等には法人内の担当者が参加しておりますので、情報を共有して連携体制を整えてまいります。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お迎えの際に当日のご様子をお伝えするだけでなく、必要に応じて相談日を設定し、保護者様との情報共有・共通理解に努めております。報告書や議事録等の記録を周知させて、職員間でも情報共有しやすい環境を整えています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニング等は実施しておりません。保護者様のお話を伺い事例のご紹介を行う等、不安を感じられたり気がかりなことがあったりした際には、いつでもご相談いただいております。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご見学・ご契約の際に、契約書等の読み合わせを行っております。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談支援専門員を含め、各関係機関の方々とカンファレンスを行う等、利用者様・保護者様を支える体制づくりに努めております。保護者様がお話ししやすく、いつでもご相談いただける環境を保ってまいります。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者様のご負担になると考え、父母の会等の実施は予定しておりません。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情やご意見をお寄せいただいた際には、内容確認・報告・再発防止に努める等、対応させていただきます。しております。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に園だよりを配布・掲示し、活動の様子や予定をお伝えしております。自己評価についてはホームページで公開しております。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	保管する場所・方法等、注意して取り扱っておりますが、今後も十分に注意していくように努めていきます。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	音声言語に限らず、構造化やサイン等の手段も含めて配慮しております。別室にご案内してお話を伺う等、随時、ご意見やご相談を受け付けております。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナの状況を鑑みて、イベント等の開催は現在自粛しております。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルは園内に掲示しています。感染症対応については、法人で基準を設け、掲示・配布・閲覧により周知しております。

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月1回、避難訓練を実施しております。年2回、災害発生を想定した避難・通報・消火訓練を行い、地域の消防署に実施報告をしています。 非常時に円滑な避難が行えるように、日ごろの訓練において、指示系統や役割分担の確認を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人内において、虐待防止に関する研修が実施されています。年1回のチェックシートを用いた確認だけでなく、日頃から、職員間で虐待についての意識を高め合い、虐待防止につなげていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	個別支援計画に身体拘束の可能性について記載しております。 現在、バギー・車いす等で移動されるご利用者様はいませんが、移動時に安全確保の固定ベルトを使用する際には、『身体拘束記録』をつけています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者様にアレルギー調査票等を記入して頂き、調査票に沿った支援・対応を行っております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例を記録し、事故につながる案件を職員間で共有することで、支援方法や環境の見直しや再発防止につなげています。